瀬戸章嗣さんの「エンジョイ・ライフ」を見習っていきましょう

１１期生同士の交流がＷｅｂ１１を通じて継続していたのだ！

瀬戸章嗣さん、Web11 の我が記事について触れていただきながら素敵な記事をご寄稿いただき有難うございました。「会員二人になるまで続けるぞ」と思いながら続けていた小田高11期会の常任幹事の座を降りてしまった途端に小田高11期会が休止してしまって以来憮然としていた私にとって、「今道編集長殿のご尽力によって11期生同士の交流がWeb11を通じて続けることができていたのだ！」ということを改めて実感することができとても嬉しく思っています。これからは、瀬戸さんに限らず掲載された記事についての感想をお送りして私も11期生同士の交流促進に尽くしていこうと思っています。

宗教団体の集会に参加して感得できたこと

我が家は私以外がエホバの証人なのですが、私も聖書を何回も読み毎週水曜日のエホバの証人聖書勉強のための集会に参加し続けています。齢 80 を過ぎるともなると聖書を通じて初めて知ったという事項は少ないのですが、聖書を読むことによって自分の努力が不足している点を改めて確認することができるからです。そして、兄弟姉妹と呼ばれている信者の皆さんの心根が優しく、信者になる気がない私と親しくお付き合いしていただいているからでもあります。昨日も、海老名にある日本支部から通っている若者が集会終了後に気楽に「今日はいつもと違った観点から見た話が多かったのですが如何でしたか」と気楽に声をかけてきてくれました。私は「『満足感はエホバが授けてくださる』というお話しでしたが、私は東芝在籍時代に学んだ事柄を思い出しながら聴いていました。」として、「『すべての仕事には次行程がありこれがお客様である。このお客様に満足感をお与えすることができてこそ自分も満足感が得られる。』と理解してこれまでやってきました」と我が思うところをお伝えしました。すると、その若者から「なるほどそういうお考えだったのですか。とても勉強になるお話を聴かせていただき有難うございました。」というコメントが帰ってきました。そして、「いかなる宗教も“真実”と思えるところは共通」といつも考えていたことが決して的外れではないということを認識しなおすことができたような気がしました。

貴兄からの一報に元気を得て

かつて、エホバの証人の集会で聴いた話が、小田原の名刹宝安寺の住職をにしていた故望月郁夫兄（3組）の語る曹洞宗出自の講話と内容が全く同じなので驚いたことがあります。このことから私の「いかなる宗教も“真実”と思えるところは共通」という思いが強まったのだと思います。私たち高校同窓生は宗教集団ではありませんから従うべき「教え」があるわけではありません。しかし、同じ学窓を出て同じ世代を生きてきた者同士、みんなそれぞれ“真実”と考えるところを意識しながら今日に至っているわけですから、お互いに共感できたり参考にし合ったりするができることがあるはずです。私は瀬戸兄の記事の中の「エンジョイ・ライフ」から特別に強い刺激を受けました。右足の関節の痛みがなかなか取れないため大好きだっ

た下手っぴテニスを中断して数か月になりますが、この間にすっかり私は「エンジョイ・ライフ」を忘れてしまっていたようです。今朝は「エンジョイ・ライフ」を見直したせいか、なんの痛みも感ずることなく、健全なフットワークを取り戻せているのでビックリしています。私は、瀬戸兄のように「大還暦」を意識することもできず、この言葉も知らずに来たのですが、精々「90 歳になってもボールの打ち合いができる」を目標として掲げなおして「エンジョイ・ライフ」の道を進みなおそうとしています。

Ｗｅｂ１１による情報交換も「エンジョイ・ライフ」の一環に

今回ご提示いただいた 5 項目にも同感できる点が大ありです。特に第 5 項「いつ死がきてもそれを良しとして受け入れる」という記述については、日本人の平均寿命(2014 年；男性 81.09 歳/女性 87.13 歳)を超えた（男性）、または、これに近づきつつある（女性）私たち世代には喫緊の課題に当たる事項ですね。先週末も駒場時代のクラスメートの逝去がメールで告げられたばかりです。しかも悲しいことに、このメールは弁護士のメンバーが所属する弁護士会のグループから伝えられた訃報がクラスメート全員に転送されてきたものでした。昔なじみの仲間との交流を続けて、お互いの現状について語り合うことによって刺激を与えあうということも「エンジョイ・ライフ」の一法なのではないでしょうか。小田高１１期会は消えてなくなってしまいましたが、各クラスごとの推進委員とやらは残っているようです。今道編集長殿を軸に、各クラスごとの推進委員を核とした WEb11 グループが競い合って投稿推進に当たる形にしたら如何でしょうか。

まずは朝の散歩とラジオ体操がお勧め

瀬戸兄は最後に「早朝散歩を始めて朝焼けの美しさや日ごとの変化に気が付いた」そして「毎日ラジオ体操をして元気になるのを感じており、森で行き交い挨拶を始める森友も徐々に増えてきた」と書かれていますが、私も同じような経験をしておりこれも「エンジョイ・ライフ」の一環になっているのだと改めて実感しています。私は毎週水曜日早朝に長躯辻堂から小田原に駆け付けて「和みの会」のラジオ体操に参加しているのですが、メンバーの皆さんや行きかう人々と笑顔で「お早うございます」の挨拶を交わしあっています。また、車の置き場の箱根口から藤棚横を通って、会場の城内小学校跡地に脚を運ぶ途中に「我らが小田原はこんなに美しいところだったのだ」と痛感できる箇所がいくつも見つかるようになりました。そのうえ白内障の手術をうけてからは特に「空の色ってこんなにきれいだったんだっけ！」と感動したり、楠の葉の緑が綺麗なのに感動して「小田原は楠の街！」と勝手に命名したりしています。この「和みの会」のラジオ体操にはかつて、故市川陸雄兄(6 組)、故根岸敏郎兄と故望月郁史兄(いずれも 3 組)も含めた 5 人もの小田高 11 期生が通っていたんですよ。現在は中澤秀夫兄(7 組)と私の二人だけ。どうぞ健康保持にお悩みの諸兄師にはお気軽に朝の散歩とラジオ体操を習慣づけて「エンジョイ・ライフ」を楽しまれることをお勧めします。また、WEb11 にて諸兄姉が「我がエンジョイ・ライフ」をご紹介してくださるのを心から期待いたしております。